

日合商は昭和52(1977)年に合板・建材を扱う流通業界の活性化と、関係官庁に意見書が提出できる組織として発足した歴史ある組織であり、業界唯一の国の認可団体です。その「会勢強化」は、業界の活性化につながるものです。また、新規会員・賛助会員の数が増えることで関係官庁への発言力も増し、社会的な影響力も拡大していくものと考えています。

Japan Plywood Wholesalers Association e-mail: jpw@oboe.ocn.ne.jp
発行所: 日本合板商業組合 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-5-4 TEL 03 (5256) 9080

日合商HP
https://www.nichigoshou.net/



2024年3月26日(火) 13:30~14:30

日合商2023年度 第三回理事会を開催しました

出席理事数 50名 (会場出席 34名、書面出席 16名) 出席監事数 6名

●議事事項

- ① 2023年度下期事業報告及び決算見込みの件
- ② 2024年度事業計画(案)及び予算(案)の件
- ③ 任期満了に伴う総代及び役員改選の件
- ④ 第45回及び第46回通常総会(総代会)の件
- ⑤ 会勢強化の件
- ⑥ 会勢強化に向けた福利厚生制度(損害保険)取扱いの件
- ⑦ その他

●報告事項

- ① 2023年度要望(陳情)活動について

足立建一郎理事長の開会挨拶、ひきつづき足立建一郎理事長が議長となって第一号議案から第七号議案まで審議が行われ、全会一致で決裁承認されました。

なお、第四号議案 第45回及び第46回の通常総会(総代会)の件では、第45回通常総会の主管となる関西支部の丸敏幸支部長から「すでに300名を超える参加申込があった」との報告がありました。また、第46回通常総会の主管となる中部日本支部の夏目基幹支部長から「開催日は2025年5月22日(木)・23日(金)、通常総会会場は名古屋観光ホテル、エクスカッションのゴルフコースは名門の三好カントリー倶楽部での開催を決定、観光コースは調整中」との報告がありました。

足立建一郎理事長、小川明範副理事長、石本勝範副理事長、初好章専務理事ら本部役員と、北海道・東北・北関東・東関東・東京・新潟・長野・静岡・神奈川・北陸・関西・中国・四国・九州・沖縄の各支部から理事・監事ら42名が出席し、千代田区のLEVEL XXI (Twenty-One) 東京會館において開催しました。

第五号議案 会勢強化の件では、昨年10月に開催した検討委員会に基づき、会勢強化への取組みに合法木材供給事業者の認定メリットを周知するとともに、賛助会員の協力を仰いで加入が実現した例を挙げ、支部ごとの更なる会勢強化に努めていただくようお願いしました。さらに第六号議案として、日合商への加入メリットとなる福利厚生制度(損害保険)取扱いの件について事務局より詳細を説明しました。

つづいて、報告事項① 2023年度要望(陳情)活動について、「住宅・建築物耐震改修事業」の更なる周知と補助拡充などの要望事項への各省庁からの回答を事務局から報告しました。

議長から事務局に、その他議案について提案がないことを確認して審議を終了し、閉会しました。



足立建一郎理事長が
開会挨拶



小川明範副理事長 足立建一郎理事長 石本勝範副理事長 初好章専務理事



第45回通常総会開催の
参加申し込み状況を説明する
関西支部
丸敏幸支部長



第46回通常総会開催の
準備状況を
中部日本支部
夏目基幹支部長が報告

2024年3月26日(火) 14:45~16:45

2023年度 第二回合板需給懇談会を開催しました

●議 題

- ① 林野の行政活動について
- ② 国内の合板供給動向について
- ③ 国内各地の需要動向について
- ④ その他(質疑応答)

日合商2023年度 第三回理事会終了後、同会場において、生販の情報交換の場として、林野庁より林政部木材産業課 課長 石田良行氏ら3名ご臨席のもと、2023年度 第二回合板需給懇談会を開催。日本合板工業組合連合会から井上篤博会長、野田四郎副会長、大和田康司副会長代理、似内 向理事代理、中西宏一理事、岸 博一理事、上田浩史専務理事ら7名に出席いただきました。日合商からは、足立建一郎理事長、小川明範副理事長、石本勝範副理事長、初好章専務理事、全国各支部から理事・監事ら42名が出席しました。

需給懇談会に先立ち、日合商足立建一郎理事長が主催者代表として挨拶。その中で、新設住宅着工数の前年割れがつづく中、日銀がマイナス金利政策解除を決定したことが、資材値上げや職人不足等による著しいコストアップ、住宅ローン金利の上昇傾向と相まって住宅産業の今後に影響するのではないかと懸念を示し、日合連の皆様にも足並みを揃えて合板市況の安定に努めていただくことを要望。そのために生販それぞれの立場から忌憚のない有意義な意見交換を行っていただきたいと、需給懇談会開催の主旨を述べました。

つづく日本合板工業組合連合会 井上篤博会長挨拶では、まず、日合連の国産合板拡販への謝辞を頂きました。併せて、国産合板メーカーでは適正な合板価格で流通することによって国産材の山元に利益を還元していくことを目指していることへの理解・協力と、物流を担う人手不足は正のためにも、余裕をもって発注いただきたいとの要望がありました。

林野庁からは木材産業課長 石田良行氏よりご挨拶と、「林野庁令和6年度当初予算及び令和5年度補正予算について」(日合商ホームページトピックスに掲載)の概要について情報を提供いただきました。つづいて、林野庁木材利用課 課長補佐 齋藤 綾氏より、1年後に施行される「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律(クリーンウッド法)の改正について」概要を説明いただきました。

日本合板工業組合連合会からご出席の石巻合板(株)、(株)日新、丸玉木材(株)、(株)キーテック、新潟合板振興(株)からは、国産合板の供給動向について、素材となる原木の価格を安定化しつつ生産調整を継続との報告がありました。

一方、日合商から出席の各支部代表者からは、戸建て住宅着工数減少、合板需要の伸び悩み、人手不足などの課題を報告。能登半島地震被災地の北陸では職人不足、職人を派遣したくても宿泊施設不足が課題。新潟市西区で液状化による住宅被害が

多数発生し、道路修復も手つかずの状況。総括として、次世代に継承できる高性能な住宅ストックづくりのための新築住宅建設+リノベーションに国産材を活用していくべきでは」と小川明範副理事長が意見を述べ、情報・意見交換を終えました。

合板需給懇談会終了後、同会場で立席形式による懇親会を開催。日合商 石本勝範副理事長の乾杯の発声でスタートし、関西支部 中村憲夫理事による中締めをはさんで交流を深め、閉会となりました。



足立建一郎理事長が
主催者挨拶



日本合板工業組合連合会
井上篤博会長挨拶



林野庁
林政部木材産業課 課長
石田良行氏



林野庁
木材利用課 課長補佐
齋藤 綾氏



次の生き方をつくろう。



合板需給検討委員会 2024年3月1日の検討結果

日本合板工業組合連合会・日本木材輸入協会・日本合板商業組合による「2023年度第四回合板需給検討委員会」を林野庁木材利用課で臨席のもと、合板会館（日合商会議室）において開催。木材行政推進のための情報として林野庁に提供した合板の短期需給見通しの検討結果です。

合板 短期需給見通し

(Unit: 1,000m³)

		供給			需要 (出荷)			期末在庫		
		計	国内製造	輸入合板	計	国内製造	輸入合板	合計	国内製造	輸入合板
2023(R5)10-12	前回予測	(1,193)	(681)	(512)	(1,180)	(670)	(510)	(1,007.318)	(121.498)	(885.820)
	実績	1,243.599	685.492	558.107	1,267.131	687.323	579.808	970.959	108.840	862.119
計		4,512.913	2,528.518	1,984.395	4,599.049	2,540.468	2,058.581			
2024(R6) 1-3	前回予測	(1,180)	(670)	(510)	(1,160)	(660)	(500)	(1,027.318)	(131.498)	(895.820)
	見込み	1,199.000	660.000	539.000	1,180.000	660.000	520.000	989.959	108.840	881.119
4-6	前回予測	(1,205)	(680)	(525)	(1,170)	(670)	(500)	(1,062.318)	(141.498)	(920.820)
	見通し	1,200.000	680.000	520.000	1,180.000	660.000	520.000	1,009.959	128.840	881.119
7-9	見通し	1,245.000	690.000	555.000	1,200.000	670.000	530.000	1,054.959	148.840	906.119

国産合板の需要

- 令和5年第4四半期の実績について** 今回 (687千m³)
(実績数量の背景、前年同期との比較等)
合板需要に影響を与える新設木造住宅着工戸数は21カ月連続して減少し、実需が乏しい状況が継続。(令和5年12月結果)前年同期は、流通では在庫の消化を進めながら不足分を当用買いで手当てしていたが、今期は、流通在庫はほぼ消化され、実需に見合った出荷量で推移。結果、実需相当量、供給量と見合いの687千m³(前年比106%)の結果となる。
- 令和6年第1四半期の見込みについて** 今回 (660千m³)
(見込み作成の根拠、前年同期との比較等)
1月も新設木造住宅着工は前年に比べて減少。また、価格も弱含みの状況で底値が見えない中、流通は実需に見合った当用買いを継続すると推測。今期に影響する令和5年第4四半期の木造住宅着工数は、令和5年第3四半期比で94.4%となることから、需要も前期比同水準の96%程度で推移すると見込む。結果、供給量と同水準の前年同期比115%と見込む。
- 令和6年第2四半期の見通しについて** 今回 (660千m³)
(見通し作成の根拠)
新設住宅着工戸数の減少傾向に加え、住宅価格上昇による建築面積低減の動きや、プレカスト工場の受注状況からすると、需要回復は見通しにくい状況が継続。2024年物流問題等、コストUPの要因がある中、底値が固まるまでは現状の当用買いが継続される見通し。なお、流通在庫が払拭されはじめた昨年6月以降は、毎月20万m³を超えた出荷量となっており、この数量が実需に見合った数量と考えると、前期と同水準の出荷量となる見通し。
(前年同期との差異について)
結果、前年同期比106.8%の見通し。
- 令和6年第3四半期の見通しについて** 今回 (670千m³)
(見通し作成の根拠)
合板需要に影響を与える木造戸建住宅の回復は現時点では不透明であり、実需不足が危惧される。但し、例年であれば繁忙期という事もあり、実需の盛り返しや非住宅物件の増加に期待したいところ。また、価格の先安感が払拭されることにも期待し、前期比微増の出荷量となる見通し。
(前年同期との差異について)
結果、前年同期比101.4%の見通し

輸入合板の需要

- 令和5年第4四半期の実績について** 今回 (580千m³)
(実績数量の背景、前年同期との比較等)
11月に一過性ではあるものの今年初となる20万m³を超える供給量となり、前年同期比微減の98.8%の供給量となる。一方、需要は実需の乏しさに変化はないものの、塗装型枠など品薄製品中心の手当てにより、入荷量を上回る出荷となる。前年同期比93.4%の見込みを立てたが、供給量も増加したこともあり前年同期比106.2%の結果となる。
- 令和6年第1四半期の見込みについて** 今回 (520千m³)
(見込み作成の根拠、前年同期との比較等)
1月の供給量は20万m³を超えたが、これはJAS印の輸入業者名印字前の駆け込みがあったと推測される。現地の生産コスト、原木事情、為替動向を踏まえると、価格を戻したいタイミングではあるものの、実需不足もあり価格は保合状態が続き、国内合板同様に当用買いは継続する見込み。1月に一過性で増加した入荷量は加味せずに実需に見合った需要と推測すると、前年同期比103.8%の見込み。
- 令和6年第2四半期の見通しについて** 今回 (520千m³)
(見通し作成の根拠)
実需の乏しさに加え円安傾向にある中、輸入商社は積極的な手当ては行わず、入荷量は前期比で減少の見通し。なお、昨年は実需が見えにくい中、急激な円安になった事から、先安感が漂い供給・需要共に大きく落ち込む。今期も実需が見えにくいため、前年同期様に当用買いは継続され、供給量相当分の出荷量となる見通し。
(前年同期との差異について)
結果、前年同期比112.6%の見通し
- 令和6年第3四半期の見通しについて** 今回 (530千m³)
(見通し作成の根拠)
大阪・関西万博の準備も佳境に入り能登半島地震復興等にもより、職人不足が危惧される。為替変動リスクもあり、現在の供給量が續くと品目によっては品不足になる見方もある。国内合板同様繁忙期に入ることから、非住宅物件等へ期待したいところだが、職人不足、コストUP等下押し要因もあることから、前期比微増での推移となる見通し。
(前年同期との差異について)
結果、前年同期比102.8%の見通し

東京の合板卸売り価格 (円)

※東京都ベニヤ板問屋協同組合、日本合板商業組合「市況通信」より
(注) 1車単位 (10トン) 問屋売り価格・90日手形 (JAS製品)

品目	3月13日	前週比	3月21日	前週比	3月27日	前週比	4月3日	前週比
ラワン JAS F☆☆☆☆	2.3mm T2	950	0	950	0	950	0	950
	4.0mm "	1,260	0	1,260	0	1,260	0	1,260
	5.5mm "	1,550	0	1,550	0	1,550	0	1,550
	9.0mm "	2,080	0	2,080	0	2,080	0	2,080
	12.0mm "	2,630	0	2,630	0	2,630	0	2,630
針葉樹 構造用	F☆☆☆☆ 12mm C-D	1,750	0	1,750	0	1,750	0	1,750
	F☆☆☆☆ 24mm 実付	3,900	0	3,900	0	3,900	0	3,900
	F☆☆☆☆ 28mm 実付	4,650	0	4,650	0	4,650	0	4,650
	F☆☆☆☆ 9mm 3×10	2,850	0	2,850	0	2,850	0	2,850
輸入・型枠用	12mm JAS製品	2,100	0	2,100	0	2,100	0	2,100
輸入・構造用	F☆☆☆☆12mm JAS製品	2,100	0	2,100	0	2,100	0	2,100

2024年3月25日現在

【グリーン購入法】に基づき 事業者新認定・期限更新した5社

北海道	-0026 ④	(株)クワザワ	代表取締役社長	桑澤 嘉英
東京・長野	-0122 ⑤	横澤建材(株)	代表取締役	横澤 宏昭
東京・静岡	-0243 ①	(株)永谷	代表取締役	永谷 和之
東京	-0123 ⑤	京浜住器(株)	代表取締役	戌亥 圭介
中国	-0102 ①	(株)大三商行	代表取締役	石川 和重

外壁下地用耐力面材 木造軸組

タイガー-EX707GL

新製品

防火構造 **耐力壁 木造軸組**
壁倍率(標準仕様) **2.7**
認定番号 FRM-0716

吉野防火 EXP-Y15
窯業系サイディング 15mm以上を用いた防火構造
認定番号 PC030BE-4028(横張り)
屋内側はタイガーボードの他にタイガー防水ボードなども可能です。小屋裏等は面材を省略できます。

耐火性
せつこうできている無機質系面材は木質系面材と比べ、火に強く燃えない建材

透湿性
湿気の通しやすさは木質系耐力面材の約14倍、湿気を通しやすいため結露の発生を抑制

耐震性
壁全体で力を受け止めるため地震や台風にも強い

寸法安定性
膨張・収縮などの寸法変化が小さいため施工後の不具合が生じにくい

汎用性
室内側の面材を自由にアレンジできるシンプルな防火構造

施工性
カッターでの加工も可能/断熱材を充てんしやすいので断熱性能を確実に発揮しやすくなる

※詳細は、耐力壁、防火構造の認定書、施工指導書をご確認ください。

YOSHINO 吉野石膏株式会社
安全で快適な住空間を創る **吉野石膏**
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル
お問い合わせは 吉野石膏DDセンター 03(3284)1181

窓

を考える会社

YKK AP

YKK AP株式会社
<https://www.ykkap.co.jp>

概要

2024年1月の新設住宅着工戸数は58,849戸(前年同月比7.5%減)で8カ月連続の減少となった。その内、木造住宅は31,754戸(前年同月比2.3%減)で22カ月連続の減少となった。季節調整済年率換算値は80.2万戸で前月比1.5%減、先月の増加から再びの減少となる。

利用関係別では、持家が14,805戸(前年同月比11.0%減)で26カ月連続の減少、貸家は24,681戸(同比2.7%増)で6カ月ぶりの増加、分譲住宅は19,039戸(同比16.1%減)で先月の増加から再びの減少。分譲の内訳はマンションが9,020戸(同比24.8%減)先月の増加から再びの減少、戸建ては9,867戸(同比6.7%減)と15カ月連続の減少となった。

貸家は増加したが、持家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比7.5%の減少となった。

国内・外合板の供給量

1月の国内合板生産量20.1万㎡(前月比91.1%、前年同月比103.0%)と発表された。その内、針葉樹合板の生産量は19.9万㎡(同比91.7%、104.5%)となり、出荷量は19.7万㎡(同比91.2%、105.2%)で在庫量は16.8万㎡となった。

輸入合板の1月度入荷量は20.2万㎡(前月比109.5%、前年同月比111.2%)となった。国別入荷量は、マレーシアが5.0万㎡、インドネシアが6.1万㎡、中国が5.5万㎡となっている。

今後の見通し

国内針葉樹合板は2月に引き続き3月も低調な荷動きである。メーカー各社が相場の下落を避けるように減産を表明し働きかけているが、現実として川下からの揺さぶりもあり流通での安値販売が散見される。メーカー建値に疑問の声が聞こえてきており、弱基調は払拭されない。市況を安定させるために、メーカーには今後も更に生産調整を実施して、需給バランスの再構築を図る意向を示していただきたい。国内相場安定には、メーカー各社が建値をしっかりと出来るかが焦点になっている。

輸入合板は、現地はほぼ価格底打ちの兆しが出てきたが、需要背景が乏しいことや為替の影響もあり、現地への発注量は小ロット傾向となっている。当面はまとまって在庫づらいつり展開となってくると思われる。現状、為替変動分の販売価格への転嫁が遅れている点が見受けられるので、欠品アイテムから価格が調整されてくると思われる。そのところを踏まえうたえで手当てを進めていただきたい。

合板市況と今後の見通し

日本合板商業組合東京支部
東京都ベニヤ板問屋協同組合
新風会
猪爪
清和

JK情報センター

2024(令和6)年4月~6月需要動向予測(抜粋)

工務店・販売店様による需要予測

2023年の新設住宅着工数は81万9,623戸(前年比95.4%)と3年ぶりに減少に転じた。利用関係別で見ると持家(前年比88.6%)、貸家(同99.7%)、分譲マンション(同99.7%)、分譲戸建て(同94.0%)となり全種別で減少となった。なかでも持家は25カ月連続、分譲戸建ては14カ月連続して前年を下回り、戸建て住宅で苦戦したことが改めて浮き彫りになった。

そのような中、2024年4月~6月の需要予測がまとまった。工務店・販売店の需要予測では、工務店がマイナス32.0ポイント、販売店がマイナス36.1ポイントと共に前回調査からマイナスポイントが拡大し、1年ぶりにマイナスへ振れる見通しとなった。地域別では北陸、中国を除くエリアでマイナスポイントが拡大する見通しとなっている。

2023年は「住宅省エネ2023キャンペーン」などの国策により住宅性能の向上に一定の成果が見られた。また、年頭に発生した大地震では旧耐震基準の住宅が大きな被害を受けたことから、人々の耐震への関心は以前にも増して高まっている。自治体においては木造住宅耐震改修補助金の活用促進を強化する動きも出てきている。

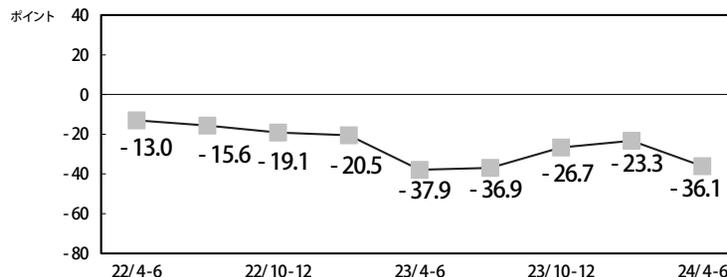
主要メーカー様による販売予測

主力メーカーの販売予測は、全ての分類で前回調査から「減少」が拡大。中でも『合板』と『窯業・断熱』については、「減少」が5割を上回る結果となった。一方で、『住設機器』は「増加」が拡大してプラスに転じ、住設リフォームは堅調な様子が窺える。

	増加予測	前年並予測	減少予測
合板	18.2%	27.3%	54.5%
木質建材	11.8%	47.0%	41.2%
窯業・断熱	12.5%	29.2%	58.3%
住設機器	30.4%	56.6%	13.0%

販売店様による景気動向の推移

過去2年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。

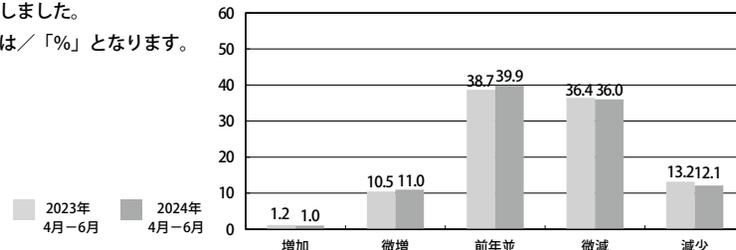


販売様による需要予測

全国 回答数 2,718

「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中からお選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算出しました。

単位は、「%」となります。



創業から半世紀の伝統と信頼性と高品質。
「日々新・進」をモットーに、
より良い製品提供に努めています。

昭和22年の創立からおよそ70有余年にわたり、常に高品質な製品を提供すべく様々なチャレンジをしてきました。おかげさまで良い評判をいただいています。
「和」と「企業活動を通じて地域社会に貢献する」ことを経営の軸として守り続けています。
これからもさらにもみなさまのお役に立てるように、業界のリーディングカンパニーとして前進していきます。

人と木を結んで...
日新グループ
http://www.nisshin.gr.jp/

日新ホールディングス株式会社

株式会社 日新
本社工場 埼玉県西工業団地100 TEL 0859-47-0303
第二工場 松江市岡本町1062 TEL 0852-88-2211
第三工場 堺港市西工業団地70 TEL 0859-47-0303

NS木質科学研究所
堺港市西工業団地102 TEL 0859-47-0806

日新林業株式会社
本社 松江市船町363 TEL 0852-23-3822
堺港事務所 堺港市西工業団地88 TEL 0859-44-3311
堺港工場 堺港市西工業団地88 TEL 0859-44-3311

湖北ベニヤ株式会社
本社工場 松江市土見町5-13 TEL 0852-37-0301

島根合板株式会社
本社 浜田市和町口895-2 TEL 0855-27-1825
第二工場 浜田市南町1-188-8 TEL 0855-27-1825

島根県合板協同組合
本部 松江市船町363 TEL 0852-23-3822
東京事務所 東京都中央区築地4-1-1 (東船ビル17F) TEL 03-3248-6861

日新バイオマス発電株式会社
本社 堺港市西工業団地46-1 TEL 0859-21-4591

地球温暖化改善に貢献 環境対応製品

壁武者

JIS規格：構造用パーティクルボード JIS A 5908

- ① 耐震強度
- ② 高性能
- ③ 安定供給
- ④ 腐木材処理
- ⑤ 人手不足
- ⑥ 高コスト!
- ⑦ SDGs



その名は壁武者!!

7つの不安要素を一気に解消!!



リサイクルで地球環境の未来を創る
東京ボード工業株式会社

廃木材処理に関するお問合せ

製品に関するお問合せ

〈関東エリア〉
RC部
〒136-0082
東京都江東区新木場2丁目11番1号
TEL:03-3522-4139 FAX: 03-3522-4137

関東営業部
〒136-0082
東京都江東区新木場2丁目11番1号
TEL:03-3522-4140 FAX: 03-3522-4137

〈関西エリア〉
TB関西物流株式会社
〒639-1037
奈良県大和郡山田額田部北町1257-6
TEL: 0743-85-7373 FAX: 0743-85-7374

関西営業部
〒639-1037
奈良県大和郡山田額田部北町1257-6
TEL: 0743-85-7373 FAX: 0743-85-7374

皆様のお越しを心よりお待ちしております！
日本合板商業組合 第45回通常総会 in 京都

【通常総会】5月16日（木）

- ・理事会／総会受付 12:00～
- ・理事会 13:00～
- ・総会 14:30～16:00
- ・講演会 16:30～17:50
講師：野球解説者／スポーツコメンテーター
広澤 克実（ひろさわ かつみ）氏
演題：「我が野球人生～リーダーシップとは～」
- ・懇親会 18:00～19:50
着座形式で京料理などをお楽しみいただけるビュッフェスタイルのパーティーです。
アトラクション：宮川町 芸舞妓による祝舞
- ・二次会 20:00～22:00 ①ホテル内
②参加人数限定オプションツアー



【エクスカージョン】5月17日（金）

〈ゴルフコース〉

茨木カンツリー倶楽部にて（20組80名先着順）
設立100周年を迎える関西名門ゴルフコースでのプレーを楽しんでいただけます。

〈観光コース〉

「世界文化遺産 醍醐寺特別拝観」と「龍馬と幕末の史跡巡り」（定員40名先着順）
開山1150年を迎える世界文化遺産の醍醐寺では、通常は一般非公開のところをご案内。
ご昼食は、伏見の老舗料亭で京料理を味わっていただけます。
※観光コースは、醍醐寺の境内をはじめ徒歩での散策が多くなりますので、歩きやすい服装・靴でご参加ください。

2024年度 定期 日合商 WEB セミナー 予定

講師：清水英雄事務所株式会社 代表取締役社長 清水 大悟 氏

回	開催月	テーマ
1	6月	災害時の住宅安全と復旧への挑戦：未来の災害対策と住宅設計
2	9月	DXの次なるステップ、工務店支援のサステナビリティ 2024
3	11月	住宅・リフォーム市場最前線 2024年～2025年の業界動向予測
4	2025年2月	建設業界の未来と課題解決へのアプローチ

※アーカイブでの視聴も可能です。

★組合員・会員専用ページパスワードは4月8日から変更しています！
ID ▶ nichigoshō パスワード ▶ reiwa06（ゼロロク）

日合商支部・地区支部 活動スケジュール

日程	支部・地区支部	内容	会場
6月13日（木）	北関東	定期総会	マークランドホテルさいたま新都心
6月21日（金）	東 関 東	定期総会	ホテルグリーンタワー幕張
6月24日（月）	中 国	定期総会	リーガロイヤルホテル広島
6月28日（金）	北 陸	定期総会	ホテル日航金沢

日合商支部で3月に開催した懇親ゴルフ会

2024年3月6日（水）

関西支部 懇親ゴルフ大会

茨木カンツリー倶楽部にて 31名参加

前夜からの雨は上がったものの曇りがちで肌寒い中で熱戦を繰り広げました。

【成績TOP5】（敬称略）

- 優勝 庄司 茂希
- 2位 石本 勝範
- 3位 上川 淳也
- 4位 伊藤 公雄
- 5位 岩井 敏



日合商ホームページトピックスより抜粋

日合商 HP
トピックス

2024.04.01 官公庁からのお知らせ

【林野庁・周知依頼】パートナーシップ構築宣言について

中小企業庁より、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」の公表に基づき、本年3月25日の下請中小企業振興法に基づく「振興基準」改正を受け、パートナーシップ構築宣言の「ひな形」も同日付で改正。新しいひな形での「パートナーシップ構築宣言」の更新及び実行を呼びかけ。

2024.04.01 官公庁からのお知らせ

第二回合板需給懇談会／林野庁より情報提供資料のご案内

参考1「木材需給動向について」

参考2「令和6年度当初予算及び令和5年度補正予算について」

参考3「国産木材活用住宅ラベルホームページの公開について（プレスリリース）」

2024.03.25 お知らせ

（一社）全国木材連合会より、JAS 構造材のパフレット「安心・安全の国産 JAS 構造材」希望者に PDF データを配布開始

2024.03.19 官公庁からのお知らせ

【お知らせ】林野庁「モクレボ～林産物に関するマンスリーレポート」

今月号では、令和6年能登半島地震に係る林野関係の被害・対応状況の第3報や、2022年の林業産出額について特集。

2024.03.12 官公庁からのお知らせ

【御連絡】不当な下請代金の減額の防止に係る要請について

中小企業庁より、物価上昇を上回る賃上げを中小企業でも実現するため、不当な下請代金の減額に係る下請法に違反する行為の未然防止に努めるよう、取引適正化に資する取組みへの要請。

2024.03.11 官公庁からのお知らせ

国土交通省より、令和5年度補正予算、令和6年度当初予算案及び令和6年度税制改正大綱に盛り込まれた「良質な住宅・建築物の取得・改修に関する支援制度」のWEB動画配信

私たちが
世界のために実現出来ること。

地球と暮らしを考える。



JKホールディングスグループでは、
持続可能な社会構築を目指す
SDGs参画を通して、現代社会に

蔓延する多くの課題解決に向け取り組みます。

地球資源を暮らしに活かす企業だからこそ、地球の未来を
想い、人、自然、そして経済の発展に貢献します。



JKホールディングス株式会社

東京都江東区新木場1-7-22 TEL.03-5534-3800 <https://www.jkhd.co.jp>

